

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	キャンパス・リビングラボラトリ小委員会	主 査 名：小篠隆生 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野澤 康
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、従前より培ってきた都市、地域と建築、マネジメントの分野横断的研究実践のスタイルを生かし、①キャンパスと周辺市街地双方に適用可能な新しい空間デザイン手法の検討、②サステイナブルなキャンパスと周辺市街地を実現する評価と計画手法の検討について、大学キャンパスをモデルとしたリビングラボラトリを構築し検討する。</p> <p>初年度：(1) 出版企画を脱稿・刊行 (2019.10 月末脱稿予定) (2) 大会オーガナイズドセッションの企画、開催 (3) 連携研究会の開催</p> <p>2 年度：(1) 大会オーガナイズドセッションの企画、開催 (2) 国内外ネットワークとの交流活動 (CAS-Net JAPAN*や ISCN**) による意見交換会 (3) 公開連携研究会の開催： 研究会 (リビングラボ) を研究者、大学施設管財担当者、キャンパス計画・設計実務担当者、大学経営層、行政を交え開催し、キャンパスと周辺市街地へ適用できる空間デザイン手法に対する課題共有化。</p> <p style="text-align: right;">*サステイナブルキャンパス推進協議会 **International Sustainable Campus Network</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：小篠隆生 (北海道大学) 幹事：吉岡聡司 (大阪大学) 太幡英亮 (名古屋大学) 委員：出口 敦 (東京大学) 恒川和久 (名古屋大学) 土田 寛 (東京電機大学) 斎尾直子 (東京工業大学) 安森亮雄 (宇都宮大学) 武田史朗 (立命館大学) 脇坂圭一 (静岡理工科大) 小貫勅子 (東北大学) 笠原 隆 (文部科学省) 平 輝 (北海道大学、公募委員)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajij.or.jp/toshi/s1/Campus/Home.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む) 6/25,7/29,9/17,12/21,1/22,3/27
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「コロナ禍における大学キャンパス利用者実態」を全国大学にアンケート調査し、6,789件の回答を得た。文部科学省「今後の国立大学法人等施設の整備充実に関する調査研究協力者会議」の最終報告書へ掲載。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会が中止になり、当初計画していた研究懇談会が開催できなかったが、2021年度の大会の企画に認められ、改めて研究活動の成果報告と問題提起をしながら、大学キャンパスを手がかりとした都市デザインの発展を目指す。 「都市・地域のサステナビリティを高めるための大学キャンパスの活用方策」 OS 研究交流会 参加者数：同時最大 53 名、応募登録 80 名、応募論文 13 題 2. 一方、OS は、都市計画委員会主催の OS 研究交流会で実施できた。 3. 当初の活動計画にはなかったが「コロナ禍における大学キャンパス利用実態調査」を行い、全国から 6,789 件の回答を得て、学生の行動変容や意識の変化の実態を明らかにした。
委員会活動の問題点・課題	1. 今までの活動の総括と今後に向けた展開の検討 2. 新たな活動メンバーの掘り起こし